

五重塔

国宝

高さ 16.1メートルのこの塔は、屋外に建てられた塔としては日本で一番小さなものであり、法隆寺の塔に次いで2番目に古いものでもある。もともとは8世紀後半に建てられたもので、屋根は檜皮葺きで、一番上には通常は見られない天蓋とフラスコの形をした飾りがつけられている。

この塔は、仏陀の記念碑であり、崇拜の対象でもある。また、室生寺の自然と建築の美しさのシンボルともなっていて、春のツツジの花や、秋の紅葉を背景にすると特に素晴らしい光景となる。1998年に台風によって大木が塔に倒れかかり、大きな損傷をもたらした。日本国内や海外から、仏教徒だけでなく様々な宗教の信者からも寄付が集まり、塔は2年かけて再建された。